

# 令和6年度 池田町総合計画審議会 議事録

日 時：令和6年8月22日(木) 13:30～16:05

場 所：池田町役場 大会議室

## 1 出席者

### 【委員】

宮崎鉄雄 会長 井上賢一郎 副会長 片瀬善昭 委員  
百瀬豊 委員 半崎洋一 委員 丸山修 委員 加藤俊 委員  
(欠席)  
松澤裕子 委員 小澤裕子 委員 坂井絵美 委員

### 【池田町】

<理事者・課長等>

町長 矢口稔

教育長 山崎晃

住民課長 寺嶋秀徳 健康福祉課長 宮本瑞枝

振興課長 下條浩久 建設水道課長 山本利彦

会計課長 丸山光一 学校保育課長 井口博貴

生涯学習課長 大澤孔 議会事務局長 山岸寛

総務課長補佐 滝沢健彦 財政係長 寺島靖城 移住定住係長 西澤正之

(欠席)

副町長(総務課長事務取扱) 宮澤達

<事務局>

企画係長 塩原長 企画係 横澤孝彰

## 2 次第

1 開 会

2 町長あいさつ

3 会長あいさつ

4 自己紹介

5 議 事

(1) 池田町行政評価(令和5年度事業)

①方針と概要について

②評価の概要説明と検証

(2)今後の総合計画のあり方について

6 その他

議事録について

報酬について

7 閉会

3 議事録(質疑応答及び要望 要約)

(1)池田町行政評価(令和5年度事業)

①方針と概要について

<加藤委員>

3頁の評価方法について、100%以上のもも含めて平均をとっているが意味があるのか。

<塩原係長>

後期に向けて検討していく。

②評価の概要説明と検証

1 環境に係る施策

(1)自然環境の保全活用、美しい景観づくり

<加藤委員>【事前質問1】

「2 成果指標状況」の指標2のR5年度実績値は、31件の申請のうちR4から新規で増えたのは2件(延24件)という意味でよいか。

<寺嶋課長>

そのとおりである。

<加藤委員>【事前質問2】

生態系被害防止外来種(特定外来生物含む)の取り扱いについては、美しいまちづくり行動デーの時期では花や種をすでにつけているものが多く、刈払等によって却って拡散する可能性があるため、もう少し注意を促す必要があると考える。今後の方向性として周知の方法や活動内容について検討した方がよ

いのではないか。

<寺嶋課長>

美しいまちづくり行動デーは景観整備のために行っている事業であり、帰省の時期を迎えるお盆の8月と、その後一定期間空け10月の年に2回実施している。活動内容については、今後更によくしていく必要があるため、工夫は必要だと考える。

<加藤委員>【事前質問3】

地球温暖化対策実行計画(事務事業編)はいつまでに策定する予定か。また、その後の区域施策編の策定予定についてはどうか。

<寺嶋課長>

事務事業編は今年度策定予定。区域施策編についてもR7年度以降あまり時間を空けずに策定する予定である。

<加藤委員>

特定外来種駆除の呼びかけに併せて、各家庭での栽培にあたり、敷地内での栽培、敷地外に出さないよう広報していただきたい。

<寺嶋課長>

敷地内での管理について各家庭をお願いをしていく。

## (2) 治山・治水・利水の推進

意見なし

## (3) 環境衛生の向上、資源循環の推進

<加藤委員>【事前質問4】

不法投棄の対策について、パトロールによって投棄者が明らかになったことはあるか。また、不法投棄は犯罪であり処罰されるということや通報先等を周知するための看板設置等も監視施策として検討しているか。

<寺嶋課長>

投棄者を特定できたケースはほとんどない。看板等の設置を含め監視体制の検討をしていく必要がある。

<加藤委員>【追加質問1】

ごみの減量について、「生ゴミは水を絞って軽量化」、「紙ゴミはリサイクル」という活動だけでは弱いのではないか。町HPに掲載されている段ボールコンポストや生ごみ処理機の導入促進を更に進めるなど、ゼロカーボンにもつながる、「生ごみをなくす」ための抜本的な対策を進めるような工夫と目標の見直しが必要なのではないか。

<寺嶋課長>

R3 年度に設けたリサイクル推進委員会で燃えるゴミの調査を行い、生ゴミやリサイクル可能な紙、プラスチックの割合が高いという結果となった。まずは生ゴミの軽量化、資源ごみの分別を重点的に推進し、着実にゴミの減量化を進めていきたい。そのため、目標の見直しの予定はない。

<加藤委員>

後期基本計画の一人当たりの燃えるゴミ排出量の目標について、変更できないのか。目標として低くないか。

<寺嶋課長>

既に後期基本計画が策定されているので変更することは難しい。R5 はごみの量を減量できたが、目標については R1 から R4 年度までの推移により設定している。

#### (4)公園緑地の整備活用

<加藤委員>【事前質問 5】

ブタナについて、生態系被害防止外来種としての周知、また駆除協力の呼びかけを検討したらどうか。

<大澤課長>

クラフトパーク公園内に3箇所回収箱を設置し、利用者に駆除協力をお願いしているが、ブタナという植物は非常に根が深く、駆除をしてもまた生えてきてしまう。ある方から芝生に優しい除草剤を紹介してもらい、試験的に使用したところ、芝生は枯れず、ブタナに一定の効果が得られた。除草剤を使用しながら、次の手を打っていきたいと考えている。

## 2 子育て支援・教育に係る施策

### (1)子育て支援・青少年健全育成

<加藤委員>【事前質問 6】

「2 成果指標状況」の指標 6 の目標達成度(実績/目標)について、「15/6」と記載があるが、「250%」の間違いか。この数値によって目標達成度も変わるのではないか。

<塩原係長>

ご指摘のとおり「250%」である。また、同指標 1 の R5 年度実績値及び目標達成度も「後日」となっているが、実績値は「2.59%」となり、目標達成度は「60%」となる。あわせて令和 5 年度実績値詳細の、「【婚姻率(%) = 年間婚姻届出件数 30 件 / 10 月 1 日現在人口 9,396 人 × 1,000】」が「【婚姻率(%) = 年間婚姻届出件数 24 件 / 令和5年 10 月 1 日現在人口 9,266 人 × 1,000】」となる。修正結果から、R5 目標達成度平均は「67%」が「84%」、R5 目標達成度平均(100%打切り)は「76%」が「69%」となる。

<加藤委員>【事前質問 7】

町民ミーティングについては、子育て支援だけでなく当町の課題について様々な意見が出されているように思う。今後それぞれの課題ごとに町民が行政とともに自分ごととして考えていけるように定期的・恒常的に継続することを検討されたい。

<宮本課長>

検討していきたい。

<加藤委員>【追加質問 2】

町民ミーティングと意見のとりまとめは町の政策全般に関わる問題であり、本来総務課企画係と住民課が共同で行うべきものである。多世代相談センターではなく、企画係と住民課の事務分掌とすべきではないか。また資料の提示にももう少し工夫が必要と考えられる。

<宮本課長>

町民ミーティングの事務局は企画係、そして移住定住係、多世代相談センターという形で行っている。課題が多方面に渡っているため、企画会議等を通じて進め方は検討していきたい。また資料の提示についても、より良いものになるよう努力していく。

## (2) 保育、幼児・学校教育の充実

意見なし

## (3) 生涯学習のまちづくり

<加藤委員>【事前質問 8】

「2 成果指標状況」の指標 2 の R5 年度実績値は延人数ではないのか。減少した原因はなにか。

<大澤課長>

ご指摘のとおりで、入力誤りである。延 65 人に修正させていただきたい。

<加藤委員>【追加質問 3】

美術館について、コロナ収束後にもかかわらず、入館者が減少している。指定管理者に対してどのように総括しているのか。

<大澤課長>

美術館運営協議会で R5 年度の振り返りと R6 年度に向けた計画等について、指定管理者から説明を受けた。入館者が目標の 6 割にとどまっており、町としては非常に深刻に考えている。指定管理者と町長が面会した際に、1 年目は手探りで上手くいかなかったが、2 年目、3 年目についてはしっかりやっていきたいと決意をいただいているので、町としては指定管理者をしっかりチェックしていきたい。

<加藤委員>

指標 2 の「かえでの会」加入者の修正があったが、目標達成度も修正となるか。

<塩原係長>

指標 2 の目標達成度(実績/目標)は 90%→130%、R5 目標達成度平均は 88%→92%、R5 目標達成度平均(100%打切り)は 75%→76%へそれぞれ修正となる。

<丸山委員>

美術館が閑散としていること、創造館が使われていないことから、現在の指定管理者でよいのか。町としてどう考えているのか、担当者の意見を聞きたい

<大澤課長>

美術館の入館者数が減っていることは危機的状況と感じているし、これでいいと思っていない。美術館運営協議会とともに指定管理者の取組について精査していく必要がある。3年間の契約期間のなかで、しっかりと結果を出してもらうようチェックしていく。

<丸山委員>

指定管理者について、町の事業者や町に関係のある事業者を優先的に選んでもらうよう要望する。

#### **(4)生涯スポーツの推進**

意見なし

#### **(5)交流の拡充**

<加藤委員>【事前質問 9】

R5年12月にはマレーシアの中高生との交流会や台湾南投県の中学校とのオンライン交流があったようだが、その後の状況はどうか。

<塩原係長>

マレーシアについては、R6年度の10月に開催したいと話があったが、マレーシア側の参加者が集まらなかったため延期となっている。台湾南投県については動きはない。

### **3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策**

#### **(1)道路の整備**

<加藤委員>【事前質問 10】

「3 取り組み結果、課題」内に「自治会要請に対し、破損状況や危険度を考慮し順次実施している事、また実施に至らない理由等に理解を得るための施策について検討が必要」とあるが、R6年度は各自治会の理解を得るためにどのような施策をとるのか。

<山本課長>

自治会要請をいただいたところで、各自治会と面談を行い、実施に至らない理由を説明している。

#### **(2)住宅対策の推進**

<加藤委員>【事前質問 11】

池田町公営住宅再生マスタープランによれば、今後町営住宅については減少する方向と理解している。新規の集合住宅開発の見通しはあるか。また、空き家を利用した、リフォーム・リノベーションによる住宅対策等は検討していないのか。

<塩原係長>

町営住宅についてはお見込みのとおりである。新規の集合住宅の開発については、聞くところによると世間的にあまり採算のとれない事業であり、当町の場合、集合住宅ではなく、分譲住宅で賄っている部分が多いと感じる。最後に空き家を利用した住宅対策については、空き家バンクに登録をしておく、売買や賃貸借契約後に改修した際に補助金が出る空き家バンク活用事業補助金制度があるのでそれに合致するかと思う。

### (3) 上下水道の整備

<加藤委員>【事前質問 12】

「3 取り組み結果、課題」内に「水洗化率は、浄化槽設置者及び下水道事業区域外(広津・陸郷地区等)の未加入者数を考慮すると実質 96%を超え、残りの 4%弱は経済的理由から下水道への接続は難しいことから、今後横ばいに推移すると思われる」とあるが、このような予想があるうえで後期計画においても水洗化率の向上を指標としている理由はなにか。残りの 4%の下水道への接続に関して対策は検討したのか。

<山本課長>

高齢化や経済的な理由によって接続が困難な世帯もあるが、現在、浄化槽を設置している方に公共下水への接続を促すため指標を設けている。

### (4) 交通の整備

<加藤委員>【事前質問 13】

「(3) 交通弱者対策」の「1 福祉輸送サービスの実施」と「2 送迎付きの買い物支援の訪問型サービス B 型・D 型事業実施事業者への補助」の違いはなにか。また訪問型サービスを推進する理由はなにか。

<宮本課長>

介護状態の違いである。福祉輸送の方は要介護、訪問型サービス B 型、D 型の方は要支援。推進する理由は、色々な方が外出できるようにということである。

<加藤委員>

送迎付きの買い物支援の訪問型サービス B 型、D 型事業は、利用したい人がいても協力者がいないと利用できないのか。

<宮本課長>

ご質問のとおり、協力者がいないと利用できない。

### (5) 移住定住の促進

<加藤委員>【事前質問 14】

「1 令和 5 年度主要施策の取り組み内容、状況」の「2 空き家などの利活用促進(空き家バンクの活性化)」の回数等の契約 9 件のうち、改修事業を利用した件数が 4 件(「2 成果指標状況」の指標 3 の R5 年度実績値)という理解でよいか。

<西澤係長>

空き家バンクの契約 9 件は、すでに空き家バンクに登録済みである約 120 件のうち R5 年度に契約があった件数である。また、改修事業は年度内に完了となる必要があるため、R5 年度に契約し改修事業までしたのが 1 件で、それ以外の 3 件は R4 年度に契約したが、年度末だったため、R5 年度まで待ってもらった方である。

<加藤委員>【事前質問 15】

移住準備住宅について、今後新規整備する計画はないのか。

<西澤係長>

財政状況から新規移住準備住宅の改修が難しいこと、また物件がないことから予定はない。ただし、移住準備住宅と比べ短期間での利用、池田町を知ってもらうための住宅として、「おためし住宅」を現在整備中である。

<加藤委員>【事前質問 16】

定住補助助成頻度の R5 年度実績値「35 件」における町内、町外の内訳はいかようか。また、その後定住されているか。R1 年度からの状況がわかれば教えてほしい。

<西澤係長>

R5 年度は 35 件のうち移住者が 10 件、町内転居が 25 件、R4 年度は 36 件のうち移住者が 26 件、町内転居が 10 件、R3 年度は 34 件のうち移住者が 19 件、町内転居が 15 件、R2 年度は 53 件のうち移住者が 35 件、町内転居が 18 件、R1 年度は 51 件のうち移住者が 28 件、町内転居が 23 件となっている。

## 4 産業に係る施策

### (1) 農業の振興・森林の保全活用

<加藤委員>【事前質問 17】

新規就農者数が伸び悩んでいるが、確保するためにどのような対策を行ってきたのか。また、今年度の新規就農者確保に向けて、どのような検討をしているのか。

<下條課長>

新規就農の相談はしばしばあるが、国の補助金を受けられる条件の方は非常に限られてくる。自己資金だけで始めようという方にはなかなかハードルが高い。R5 年度の新規就農者は 0 だったが、R6 年度は既に 2 名出てきている。今後も相談等には積極的に応じて、新たな就農者を受け入れる体制づくりを行っていききたい。

<加藤委員>【追加質問 4】

「3 取り組み結果、課題」にて「農業振興について審議会が開催され、最終答申書を提出した」ことで止まっているが、実際には農業者から意見具申が出され、この審議について町民からも疑問が出されている。今後の農業施策の推進への取り組みとしては、大きな問題を残したと思われるが、この点は明確にすべきではないか。

<下條課長>

新法人、池田町ファーム、その他法人の皆様と話し合いや協議を重ねて農業振興を図っていく予定。町全体の農業施策に関しては、地域計画をR7年3月までに策定する。

## (2) 商業の振興

<加藤委員>【事前質問 18】

シェアベースにぎわいの利用者増加の実績を教えてください。また HP として FB のページも紹介されているが、2021 年末より更新がなく、最新の状況やイベントの開催情報もわからない。また、指定管理者である株式会社池田にぎわい創造社について調べても詳細がわからず実態が不明である。情報を開示されたい。

<下條課長>

株式会社池田にぎわい創造社は、H30 年 5 月に創立し、同月からシェアベースにぎわいの指定管理を任命している。更新は3年ごとで、R6 年度から再度3年間の指定管理をお願いしている。また、情報発信については、にぎわい創造社の人手不足から更新が行き届いていない状況である。今後、定期的に更新をしていくか、別の方法で情報発信していくか検討していく。

<加藤委員>【事前質問 19】

商業等活用エリアの今後の活用について、設計及び整備工事の実施計画があるのならば明らかにされたい。

<下條課長>

R7 年度に全面アスファルト舗装をし、多目的に使える広場にしたいと考えている。

<加藤委員>【追加質問 5】

町内での起業件数が増えている。増大した要因を含む実態の掌握とネットワーク形成への努力が図られているのか。

<下條課長>

働き方の多様化や起業を考えた移住者が増加している。特に飲食店を始める方が多い。町の移住定住係や商工会と連携しながらネットワーク形成をしている。

## (3) 工業の振興

意見なし

## (4) 観光の振興

<加藤委員>【事前質問 20】

「2 成果指標状況」の指標 11 ツアーバス対応可能な民間施設 6 施設について教えてください。また目標値の 9 施設まで残り 3 施設だが、想定している箇所や働きかけをしている施設はあるか。

<下條課長>

八寿恵荘(カミツレ研究所)、道の駅池田(ハーブセンターやナチュラルマルシェソヨソヨ含む)、夢農場、大雪溪酒造、ガラスアートのアトリエ SHO、北アルプス展望美術館の6箇所。また、残り3箇所については、ドメーヌヒロキ、ポッジョヴィルデ、福源酒造、サーキット安曇野等を想定している。

#### (5)6 次産業化の推進

<加藤委員>【事前質問 21】

「2 成果指標状況」の指標 2「ハーブの薬草に関するガイドブックなど周知資料の作成」の実績値及び目標値は5年間の合計(延べ数)ではなく、毎年資料を作成することを想定していたのか。

<下條課長>

毎年1種類ずつ作成を目標としていた。R4年度は薬草セミナーを開催しており、その際の資料を実績として計上している。この資料については今後必要に応じて配布していきたい。

#### (6)雇用と労働

意見なし

### 5 福祉と人権に係る施策

#### (1)住民福祉の向上

意見なし

#### (2)保健予防・医療の充実

<加藤委員>【事前質問 22】

「2 成果指標状況」の指標 6「2号被保険者要介護認定率」について、理解が難しいので解説を求めた。このような専門的な知識が成果指標として必要だったのか。また、達成度は0%で間違いないか。

<宮本課長>

2号被保険者要介護認定率とは、40歳から64歳までの方の介護保険の認定率である。なぜ成果指標に計上したかという点、若くして介護保険をできるだけ使わずに元気でいていただきたいとの思いで保健センターとして活動している。そのため、認定率をいかに低く抑えられるかがアウトカムとなる。同規模の町村とは同等だが、県と比較すると町の方が高い。そのため、目標達成率は0%としている。今後認定率を低く抑えられるよう努力していく。

#### (3)人権の尊重・男女共同参画の推進

<加藤委員>【事前質問 23】

「2 成果指標状況」の指標 3「池田町男女共同参画まちづくり推進協議会による推進活動」の実績として、防災無線での周知10回が挙げられているが、その効果については疑問がある。役場内や町議会において、男女共同参画が実現しているか、各種ハラスメント等が行われていないか、まずはアンケート等で実態調査を行ってはどうか。そのうえで、行政の場から池田町男女共同参画プランを率先して進めるの

はどうか。

<大澤課長>

「人権教室を開催するので皆さん集まってください」といってもなかなか人が集まらないのが現実。あまり表には出さずに終わってみたら「人権について考えさせられたね」というような取り組みが町としての狙いである。そのため、男女共同参画週間のある6月に、PR キャッチフレーズ等を防災無線で繰り返しお伝えし、人権のことを少しでも考えていただけるよう実施したため、効果がないと思ったことはない。

また、役場内では各課で課長による職員の面接やアンケート調査の実施、4月の課長会議では参画審議会等への女性の参画の推進についてもお願いしている。

<加藤委員>

池田町の中でも、例えばこの審議会においても、審議委員や役場各課長の男女比率に格差があるなど、まだまだ男女共同参画とは言い難い状況であるので、一層の推進をお願いしたい。

## 6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策

### (1) 消防・防災・防犯体制の整備

<加藤委員>【事前質問 24】

「2 成果指標状況」の指標 2「指定避難所などへの誘導標識設置」の実績値について、R4 年度から R5 年度にかけて減っているのはなぜか。5 年間の合計(延べ数)ではないのか。

<塩原係長>

電柱の巻き看板に企業名とともに指定避難所などへの誘導標識が記載されているものがあつたが、R5 年度に7箇所やめたため、11箇所とした。しかし、延べ数であるため18カ所に修正をお願いしたい。また、目標達成度は23%→38%、R5 目標達成度平均は37%→42%、R5 目標達成度平均(100%打切り)は37%→42%にそれぞれ修正となる。

<加藤委員>【事前質問 25】

消防団の団編成に係る検討の計画はどのようになっているのか。また、「2 成果指標状況」の指標 3「消防車両の更新(ポンプ車)」の目標値は後期計画でも2台となっているが、変更の必要はないか。

<塩原係長>

団編成について検討しているところではあるが、結論が出ていないため、現段階では目標値を減らしていない。引き続き検討をしていく。

### (2) 開かれた町政と協働のまちづくり

<加藤委員>【事前質問 26】

「町民との懇談会」について、情報開示も含めて、課題ごとに町民が主体的に行政との協働のまちづくりを考えていくための機会として、継続的・恒常的な開催を検討されたい。

<塩原係長>

町長との懇談の機会を持っていただくため、町長室開放を実施している。

### (3) 財政の健全化

<加藤委員>【事前質問 27】

次期財政シミュレーションはいつ見直し、公表する予定か。

<寺島係長>

R7 年 2 月頃を予定している。

<加藤委員>【追加質問 7】

経常収支比率について、臨時財政対策債は今後増える見込みはない。一方で経常経費充当一般財源は増大しており、今後とも比率の上昇が懸念される。このことを明確にし、財政健全化への意思を示す必要があるのではないか。

<寺島係長>

国税の収入の好調さが今後も続けば、ご質問のとおり、臨時財政対策債が増えることはないと思う。公債費、人件費、扶助費を含めた義務的経費の増加に関してはある程度仕方ない部分ではあるが、経常経費については、削減に向けた取り組みを一層進める必要がある。また、財政健全化の意思を示す必要があるという点については、後期基本計画の財政健全化の成果指標の目標値を目指すということ、財政シミュレーションを随時見直し、持続可能な財政運営の見通しを示していくことで対応していきたい。

### (4) 行政の効率化・地域情報化の推進

<加藤委員>【事前質問 28】

「2 成果指標状況」の指標 1「職員数」については、目標値が最適であり、それより人数が少なくても多くても達成度が下がるという認識でよいか。

<滝沢課長補佐>

R5 年度の実績値では目標を達成しており、行政改革推進委員会の答申では 92 名とあったが、目標を変更していないため、その数値も達成している状況である。

<加藤委員>

職員数の目標達成度は 93%ではなく、100%もしくは 100%以上になるということによいか。

<滝沢課長補佐>

現状の目標は達成しているが、今は減りすぎている状況なので 100%に近づけていかなければならない。目標をたてた時点では、職員数が目標をだいぶ上回っていた。しかし、R4 年度に急減したが、目標を変更できないため逆転してしまっている。

<加藤委員>

実質、目標の数値の意味が逆転してしまっているのなら、目標を変えることはできないのか。今後の総合計画のあり方にも関わってくるが、常に更新し、臨機応変に対応していかないと、最終的な評価の意味

がなくなってしまう。目標を変更しないのであれば目標達成度は当初の数字で出すべきではないか。

<滝沢課長補佐>

計画の見直しの時点では、目標を変える必要がなかったもので、その目標に対して評価をすべきで、下回ってしまったからといって簡単に目標を変えるわけにはいかない。

<加藤委員>

目標を変えるのが難しいというのはよくわからない。今の説明だと目標は変えられないが、達成度の出し方は変えられるということなのか。

<塩原係長>

5年間でやっている以上、目標は変えられない。目標を変えられるとすると、最終的に達成できそうな目標に変えてしまえば全て達成度が100%になってしまう。ただし、時代は変わっていくので、どこかでは変えていかなければならない。計画自体を2年計画等の短期間にすれば実現の可能性もあるが少なくとも現状は5年計画でやっている以上は変えることはできない。

職員数については目標値より減りすぎてしまい問題も出ている。多過ぎても少なすぎても良くないということもあり93%という形になっている。

<加藤委員>

目標が変えられないのであれば、成果の出し方も変えるべきではない。整合性がとれなくなってしまう。他の委員さんの考えを教えて欲しい。

<半崎委員>

個人的な考えとすれば、加藤委員の見解もわかるが、事務局が、「97人の目標に対して、96人でも98人でも適切な状態ではない達していない。97人が適切な状態だ。そのため、97人を下回る以下になってしまったから目標を達していない」と判断されたとすれば、この指標については100%以上になっていないことが理解できる。

<加藤委員>

当初の質問通り職員数については目標値が最適(100%)であり、それより人数が少なくても多くても達成度が下がるという認識でよいか。

<塩原係長>

よい。

## (5)行政の広域化

<加藤委員>【事前質問 29】

全体を通して、後期基本計画を審議している際にも同様の発言をしたが、現状の総合計画の成果指標は、行政側において(あるいは担当課において)は、理解しやすいかもしれないが、一般町民には非常に分かりづらいものと感じ、また目的に沿った成果指標とは考えられないものもある。

失礼だが、議会の要望で100%以上の成果を算出し、その平均を提示したところでさらにわかりにくくなった。本来は計画通り進むためにたてた目標なので、達せなければその原因と対策を明らかにして次の目標をたてるのが筋である。第7次総合計画に向けては、より分かりやすい成果指標の設定や評価方法について早めに検討するとともに、第6次総合計画後期基本計画においても見直しをして修正しながら進められたい。

<塩原係長>

成果指標については、一般の方には難しいところもあるかと思うので、考慮したい。

成果の算出方法については、「①方針と概要について」でお伝えしたとおりである。

次のご意見の「本来は計画通りに進むためにたてた目標なので、達成できなければその原因等々の対策を明らかにして次の目標をたてるのが筋である」という点については「昨年度、後期基本計画をたてた際に、R4年度の評価とR4年度に実施した町民アンケートに基づいて行った」ということが対応する。

最後の点はこのあとの「(2)今後の総合計画のあり方について」でお話させていただく。

## 全 体

<半崎委員>

目標達成度が100%を超えている事業については、更に推進され、また、目標が達成できなかった事業については検証をして目標に近づくよう取り組んでいただきたい。

### (2)今後の総合計画のあり方について

<矢口町長>

第6次総合計画は予定どおり進めさせていただきたい。第7次総合計画については、計画期間やカバーする範囲等について従来の枠組みにとらわれない形とし、進め方等については検討していきたい。

本日の議事の中でも、成果指標状況の目標達成度について、100%以上を表記するのはどうかと意見があったが、こちらについては、私が議会で強く推進した。前回までの評価では100%以上がないため、職員が頑張って1年目に達成してしまったら、そのあとは遊んでいても100%になる。果たしてそれでいいのか。モチベーションをあげるためには、頑張ってもらう時には頑張ってもらい、町民の皆さんにもその姿を見ていただきたい。しかしながら、分かりづらいという意見もいただいているので、県や他市町村の評価方法等を参考に進めていきたい。

また、第7次総合計画を策定するにあたり、個別計画との関係性も課題である。今までは比較的少なかった個別計画だが、現在は、多くの計画を策定している。そのため、総合計画の策定にあたり突き詰めれば突き詰めるほど、個別計画との整合性が取れなくなってしまう。総合計画はある意味ビジョン的なもので、個別計画で補完していくことが必要ではないかと考える。そして、総合計画の策定には、最低でも1年半くらい時間をかけてしっかり準備をし、町民の皆さんにも共感していただけるような、地に足のついた計画にできればよいと思う。皆さんのご意見をいただきながら進めていきたい。